



美小だより

よしかわしりつ みなみしょうがっこう

《吉川市立 美南 小学校》 1月号



令和5年 1月10日発行
 〒342-0038
 吉川市 美南4丁目17番地3
 TEL 048(984)3730
 FAX 048(983)5268

次代に引き継ぐもの

校長 清水 孝二

「明けましておめでとうございます。」

保護者、地域の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えになったこととお慶び申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

今年の干支は、卯（うさぎ）。穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」の意味を示すそうです。また、その跳び姿から「飛躍」、「向上」を象徴することから親しまれてきました。他にも草木が地面をおおうようになった状態を表していますので、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。皆様とともに挑戦、飛躍の年としたいものです。

さて、昨年末朝日新聞のフロントランナーという連載に建築家の安藤忠雄さんの記事が掲載されておりました。各界の著名人の生き方や考え方が著わされており、私もその方々から、生き方を学ばせていただいております。

安藤さんは、日本に留まらず世界的にも有名な建築物を多く設計されてきた方ということは知っておりましたが、その人となりについては、恥ずかしながら初めて知ることがばかりでした。例えば、中学生の頃自宅の建て替えを担当した大工さんの仕事ぶりをつぶさに観察して建築に興味を持ったこと、経済的な理由で大学に通わず、友人から建築学の教科書を購入してもらい、それらを独学で学んだことなどです。

しかも、建築の専門教育は受けておらず、毎日15時間以上勉強し、建築科の学生が通常4年かけて学ぶ内容を1年で習得して建築士試験に1発で合格したのです。

その後、建築界のノーベル賞と言われる「プリツカー賞」を受賞し、東京大学建築学科の教授を務め、名実ともに世界的にも評価された素晴らしい方です。

氏は「建築で社会問題を解決できないし、人の魂を救えるわけでもない。それでも、文化を拠り所に、明日を担う子どもたちがそれぞれの夢を見つけるきっかけ作りはできる。」と述べておられます。その思いで、私財を投げうち「子どものための図書館」づくりをされています。バングラデシュの首都ダッカでも計画が進んでいるそうです。

建築という大きな仕事の中で、次代の子どもたちへ受け継ぐ心に感動いたしました。

教育に身を置く私たちは、次代を担う子どもたちの教育をお任せいただいております。子どもたちが夢を育み、自ら考えて積極的に社会を動かしていける人となれるよう、教職員とともに取り組んでいく決意を新たにいたしました。

3学期も保護者の皆様、地域の皆様のご理解ご協力をいただきながら、学校運営をしてまいります。よろしくお願いいたします。

(参考 朝日新聞 2022.12.24付 フロントランナー)

学年	男子	女子	計
1年	107	105	212
2年	95	128	223
3年	110	122	232
4年	116	116	232
5年	102	114	216
6年	106	111	217
たけたん	22	5	27
計	658	701	1359

今月の生活目標
友だちを大切にしよう

今月の保健目標
かぜの予防をしよう
 教室の空気を入れかえよう

1月の行事予定

日	元日	冬 季 休 業 日	イラスト
1	日		
2	月		
3	火		
4	水		
5	木		
6	金		
7	土		
8	日		
9	月	成人の日	
10	火	始業式 3時間授業 校内書きぞめ競書会(5・6年生)	
11	水	給食開始 委員会活動 校内書きぞめ競書会(3・4年生)	
12	木	発育測定1・6年・特	
13	金	発育測定2・3年	
14	土		
15	日		
16	月	児童集会 発育測定4・5年	
17	火	避難訓練	
18	水	クラブ活動	
19	木	教育相談日	
20	金		
21	土		
22	日		
23	月	朝読書	
24	火	入学準備会	
25	水	クラブ活動	
26	木	5年ブラッシング指導	
27	金		
28	土		
29	日		
30	月	全校朝会	
31	火	特別日課(校内研修のため)	

ありがとう集会



登校指導や読み聞かせ、地域での見守りなど、学校生活を内外から支えてくれている地域の方をお招きして、ありがとう集会を今年度も行いました。



各学年の心のこもった発表やプレゼントで、日ごろの感謝を伝えるとともに、自分たちの生活が多くの方に支えられていることを見直すとてもよい機会となりました。



地域の方々にも喜んでいただくことができました。

幼稚園・保育園との交流会

近隣の幼稚園・保育園の園児を招待して、1年生との交流会を行いました。

学校の見学をしたあと、体育館で1年生から学校生活の紹介をクイズを交えて行ったり、歌のプレゼントをしたりしました。いつもは一番下の学年の1年生ですが、お兄さん・お姉さんとして立派な態度で発表をして、園児たちはその様子に見とれていました。



赤い羽根共同募金への協力ありがとうございました。

社会福祉法人 埼玉県共同募金(赤い羽根募金)へのご協力ありがとうございました。28,583円の募金が集まりました。

2月の主な行事(予定)

1日(水)~3日(金) 3年 消防署見学
 9日(木) 教育相談日
 16日(木)・17日(金) 授業参観・懇談会(1・2・5年・特)
 20日(月)・21日(火) 授業参観・懇談会(3・4・6年)



吉川市の全ての学校で

コミュニティ・スクールがはじまりました

コミュニティスクール
(学校運営協議会制度)とは?



コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組みです。

学校運営協議会を設置した学校を『コミュニティ・スクール』と呼びます。

学校運営協議会では
どんなことをするの?



学校運営協議会では、地域住民や保護者の代表の方々が、教育の当事者となって学校運営や学校への支援について、子供たちのために話し合いをします。

地域住民や保護者の方々の意見が学校運営に反映されることで、地域に根差した特色のある学校づくりが進んでいきます。学校運営協議会が、未来の地域づくりにつながっていきます。

コミュニティ・スクールが進むと、こんな効果があります



子供たちには

- ・地域全体が学びの場となり、学校内外の学習環境がよくなります。
- ・地域の大人をモデルとし、自分たちが学んだことを生かして生活や地域の課題を解決しようとしています。

保護者には

- ・地域みんなに見守られながら子育てをしているという、安心感が生まれます。
- ・学校や地域への理解が深まり、愛着が生まれます。

地域住民には

- ・学校を核とした地域の方々との一層のつながりにより、防犯・防災に強い安心・安全な地域が作られます。
- ・豊かな人生経験や技能を子供たちに生かすことで、生き甲斐が高められます。

学校には

- ・地域住民や保護者の理解と信頼を得て、充実した学校運営が実現します。
- ・学校・家庭・地域の適切な役割分担により、子供と向き合う時間の確保につながります。

学校運営協議会ではこんなことが話し合われました

ICTの活用が進んでいますね。
子供たちに情報活用能力の育成が重要ですね。

不登校解消が中学校区の共通課題ですね。どんな取り組みができるだろうか。

地域の子供たちには、こんないいところがありますよ。

1月分の登下校時刻の変更について

日	曜	変更を必要とする 行事名	変更後の下校時刻					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
10	火	始業式 3時間授業	11:30	11:30	11:30	11:30	11:30	11:30
11	水	委員会活動				14:35		
31	火	第3回校内授業研究会	14:15	15:05	15:05	15:05	15:05	15:05

ありがとう集会 各学年の出し物の様子



1年生 合唱「さがしてみよう 2年生 合奏「山のポルカ」
ならしてみよう」



3年生 ダンス「Flash of Unity」



4年生 合奏「楽しいマーチ」



5年生 演舞「百花繚乱」



6年生 合奏「雨のうた」